



フレクセラ・ソフトウェア製品  
ライセンスングガイド -  
InstallShield、AdminStudio、  
InstallAnywhere

# フレクセラ・ソフトウェア製品ライセンスガイド - InstallShield、AdminStudio、InstallAnywhere

部品番号： IAP-1700-LG00

製品のリリース日： 2010年8月

## 著作権情報

Copyright (C) 1996-2010 Flexera Software, Inc. and/or InstallShield Co. Inc. All Rights Reserved.

この製品には、Flexera Software, Inc. および/または InstallShield Co. Inc.、および該当する各ライセンサーによって所有されている権利、機密技術、情報、創造的な製作物が含まれています。本技術の一部または全部を、Flexera Software, Inc. および/または InstallShield Co. Inc. からの事前の書面による明示的許可なしに、使用、複製、出版、配布、表示、改変または転載することはいかなる形態または手段を問わず厳重に禁止いたします。Flexera Software, Inc. および/または InstallShield Co. Inc. によって書面で明示されている場合を除き、この技術の所有は、禁反言、黙示などによっても、Flexera Software, Inc. および/または InstallShield Co. Inc. が所有するいかなる知的財産権の下、ライセンスまたは権利を一切付与するものではありません。

本技術およびそれに関する情報のすべての複製は、Flexera Software, Inc. および/または InstallShield Co. Inc. より許可されている場合に限り、著作権および所有権に関する通知を完全な形で表示しなければなりません。

## 商標

Flexera Software、AdminStudio、FlexNet Connect、InstallShield、InstallShield Developer、InstallShield DevStudio、InstallShield Professional、OneClickInstall、および QuickPatch は、Flexera Software, Inc. および/または InstallShield Co. Inc. の米国および/または他の国における登録商標または商標です。ここで言及されているその他すべてのブランドおよび製品名は、各社の登録商標または商標です。

## (米国内向け) 制限付権利に関する表示

本ソフトウェアおよびソフトウェア関連書類は、"Commercial Items"(48 C.F.R. § 2.101 に定義)であり、"Commercial Computer Software" および "Commercial Computer Software Documentation"(48 C.F.R. § 12.212 および 48 C.F.R. § 227.2702 で使用)により適宜構成されます。48 C.F.R. § 12.212、ないし、48 C.F.R. § 227.2702-1 から 227.2702-4 までの関連セクションに従い、商用コンピューター・ソフトウェアおよびコンピューター・ソフトウェア関連書類は、エンドユーザーである米国政府に対し、(A) 商品のみとして、(B) 他の一般エンドユーザーに対する場合と同様に、本 Flexera Software の標準商用契約の条項に従ってライセンスされます。非公開の権利は、アメリカ合衆国の著作権法に基づき留保されています。

# 目次

---

<b>1</b>	<b>InstallShield、AdminStudio、および InstallAnywhere におけるライセンシング</b> . . . . .	<b>5</b>
	<b>InstallShield、AdminStudio、および InstallAnywhere の同時接続ライセンス</b> . . . . .	<b>7</b>
	InstallShield、AdminStudio、および InstallAnywhere における同時接続ライセンスの概要 . . . . .	9
	ライセンス サーバー上に FlexNet Licensing Server ソフトウェアをインストールおよび構成して、InstallShield、AdminStudio、または InstallAnywhere の同時接続ライセンスを管理する . . . . .	11
	InstallShield または AdminStudio をインストールして、同時接続ライセンスの FlexNet Licensing Server を識別する	15
	<b>InstallShield Standalone Build のライセンス</b> . . . . .	<b>17</b>
	InstallShield Standalone Build のライセンシング概要 . . . . .	18
	Standalone Build の取得 . . . . .	19
	Standalone Build のノードロック ライセンスのインストールと構成 . . . . .	21
	Standalone Build の同時接続ライセンスの設定 . . . . .	27
	FlexNet Licensing Server ソフトウェアの取得 . . . . .	27
	ライセンス サーバー上に FlexNet Licensing Server ソフトウェアをインストールおよび構成する . . . . .	29
	Standalone Build をビルド マシンにインストールおよび構成する . . . . .	37
	Standalone Build ライセンスに関する問題のトラブルシューティング . . . . .	39
	<b>FlexNet Licensing Server 上における License Server Manager (Imadmin) の使用</b> . . . . .	<b>42</b>
	Imadmin の起動 . . . . .	42
	FlexNet Licensing Server のシステム情報を参照する . . . . .	44
	ライセンス ファイルを Imadmin にインポートする . . . . .	47
	ベンダー デーモンの管理 . . . . .	49



# InstallShield、AdminStudio、および InstallAnywhere におけるライセンスング

このドキュメントは、InstallShield (Standalone Build を含む)、AdminStudio、および InstallAnywhere のライセンスング関連の手順について説明します。

## ライセンスングのオプション

InstallShield、AdminStudio、および InstallAnywhere では、2 種類のライセンスング モデルが用意されています：

- **ノードロック ライセンス** - このモデルでは、製品ライセンスは特定のユーザーとマシンに固定されています。このモデルは従来型のオプションで、最も頻繁に購入されています。  
ノードロック型のライセンスを使用している場合、マシンに保存されている個人のライセンスは、ユーザーの責任で管理してください。複数のユーザー間でこの種類のライセンスを共有することは、フレクセラ・ソフトウェア製品のエンドユーザー使用許諾契約書 (EULA) に違反します。
- **ネットワーク ライセンス (同時接続ライセンス)** - このモデルを使用すると、フレクセラ・ソフトウェア製品のライセンスを複数のユーザーと共有または浮動ライセンスとして使用することができます。このモデルは、**浮動ライセンス** または **セルフホスト型ライセンス**とも呼ばれます。同時接続ライセンスは、従来型のノードロック ライセンスに比べて、より高い柔軟性と費用対効果を提供します。

お客様の組織がフレクセラ・ソフトウェア製品の同時接続ライセンスをご購入された場合、使用中のライセンス サーバーに製品を接続する必要があります。この後、フレクセラ・ソフトウェア製品を自分のマシンで起動するたびに、必要なライセンスが使用可能であることがサーバーでクエリされます。ライセンスが使用可能な場合、フレクセラ・ソフトウェア製品へのアクセスが許可されます。同時接続ライセンスでは、製品のアクティベーションは必要ありません。

異なるライセンス モデルに関する情報と、ニーズに一番適したオプションの選び方については、フレクセラ・ソフトウェアのセールス担当者、または最寄のリセラーにお問い合わせください。



**メモ:** *InstallShield Standalone Build* のライセンスング オプションは、多少異なります。詳細については、「[InstallShield Standalone Build のライセンス](#)」を参照してください。

ノードロック ライセンスをご購入いただいた場合、製品をアクティベートする方法については、製品のドキュメントを参照してください。同時接続ライセンス環境を設定する方法については、「[InstallShield、AdminStudio、および InstallAnywhere の同時接続ライセンス](#)」を参照してください。

# InstallShield、AdminStudio、および InstallAnywhere の同時接続ライセンス

お客様の組織が InstallShield、AdminStudio、または InstallAnywhere の同時接続ライセンスをご購入された場合、お客様の環境で設定されている FlexNet Licensing Server によって、同時に実行可能な製品のインスタンス数が管理されます。組織内のユーザーによって製品が起動されるたびに行われるプロセスを、以下に説明します。

1. ユーザーが製品を起動する。
2. ユーザーのマシン上の FlexEnabled コードが、FlexNet Licensing Server との接続を確立して、ライセンスを要求する。
3. FlexNet Licensing Server が、ライセンスが使用可能であるかどうかをチェックする。ライセンスが使用可能な場合、FlexNet Licensing Server がそれをチェックアウトします。また、サーバーがユーザーのマシンにメッセージを送信します。このメッセージによって、製品の実行が許可されます。
4. ユーザーのマシン上の FlexEnabled コードがメッセージを受信して製品を開く。

ユーザーが製品を終了したとき、ユーザーのマシン上の FlexEnabled コードが FlexNet Licensing Server にメッセージを送信して、ライセンスがチェックインされます。これによって、別のマシン上でこのライセンスが使用できるようになります。

## FlexNet Licensing Server のコンポーネント

FlexNet Licensing Server は、以下のコンポーネントで構成されます。

テーブル 1-1: FlexNet Licensing Server のコンポーネント

コンポーネント	説明
FlexEnabled 製品	FlexEnabled 製品とは、FlexNet Publisher Licensing Toolkit を使ってそのライセン モデルを実装する製品です。InstallShield、AdminStudio、および InstallAnywhere はすべて FlexEnabled 製品です。これらの FlexEnabled 製品は、FlexNet Licensing Server と通信して、必要に応じてライセンスを要求します。
ライセンス ファイル	ライセンス ファイル (.lic) は、ライセンス証明書を含むテキスト ファイルです。このファイルには、サーバー マシンおよびベンダー デーモンに関する情報が含まれています。また、ご購入済みの同時接続ライセンスの数に関するデータも含まれています。

テーブル 1-1: FlexNet Licensing Server のコンポーネント ( 続き )

コンポーネント	説明
License Server Manager	<p>FlexNet Licensing Server 上のライセンス サーバー マネージャーは、FlexEnabled 製品との最初の通信を処理して、接続をベンダー デーモンに渡します。ライセンス サーバー マネージャーは、ライセンス権利を提供するためのベンダー デーモンを開始および管理します。</p> <p>ライセンス サーバー マネージャーには、2 種類あります：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• <b>Imadmin</b> - 最新バージョンのライセンス サーバー マネージャー。このバージョンは、グラフィック ユーザー インターフェイスを使用します。</li><li>• <b>Imgrd</b> - オリジナルバージョンのライセンス サーバー マネージャー。このバージョンは、コマンドライン インターフェイスを使用します。</li></ul> <p>このドキュメントでは、Imadmin に基づいた手順が説明されていますが、Imgrd を使って同時接続ライセンスを管理することもできます。</p>
ベンダー デーモン	<p>ベンダー デーモンは、FlexEnabled 製品を開発したベンダーと関連付けられたファイルです。FlexNet Licensing Server を使って InstallShield、AdminStudio、InstallAnywhere、および他のベンダーが開発した FlexEnabled 製品のライセンスを管理する場合、FlexNet Licensing Server は、フレクセラ・ソフトウェアのベンダー デーモン 1 つと、その他の各ベンダーにつき 1 つのベンダー デーモンを取り扱います。</p> <p>ベンダー デーモンは、FLEXEnabled 製品と FlexNet Licensing Server 間の通信を処理して、チェックアウトされているライセンスの数、およびその使用者を追跡管理します。</p>

FlexNet Licensing Server のコンポーネントに関して、以下の点にご注意ください：

- **TCP/IP を通して通信** - InstallShield、AdminStudio、および InstallAnywhere は、TCP/IP ネットワーク通信を介してベンダー デーモンとの通信を行います。製品およびデーモンのプロセスは、ネットワーク上の別々のマシン上で実行することができ、ワイドエリア ネットワークのサイズは問いません。
- **マシン非依存型の通信** - フレクセラ・ソフトウェア製品と FlexNet Licensing Server 間におけるトラフィックのフォーマットはマシンに依存しないため、異種ネットワークを使用できます。このため、FlexNet Licensing Server マシンとフレクセラ・ソフトウェア製品を実行するマシンには、異なるハードウェア プラットフォーム、または異なるオペレーティング システムを使用することができます (たとえば、UNIX と Windows)。
- **ベンダーデーモン強制終了のシナリオ** - ベンダーデーモンが何らかの理由で強制終了する場合、すべてのユーザーは、そのライセンスを失います (アプリケーションが突然停止することはありません)。ユーザーは通常、ライセンス サーバー マネージャーがベンダー デーモンを再開したときに自動的にライセンスを再取得しますが、ベンダー デーモンの使用不可能な状態が長引くと、製品が終了する場合があります。



# InstallShield、AdminStudio、および InstallAnywhere における同時接続ライセンスの概要

次の手順は、フレクセラ・ソフトウェア製品のためのネットワークライセンス環境を設定する方法を説明します。



**タスク** フレクセラ・ソフトウェア製品の同時接続ライセンスを設定するには、以下の手順に従います：

1. フレクセラ・ソフトウェアライセンス生成ツール (<http://shop.flexerasoftware.com/LicenseGenerator/default.aspx>) を使って、ライセンス ファイルをダウンロードします。
2. 組織内のライセンスを管理するために使用するマシン上に FlexNet Licensing Server をインストールします。
  - Windows ベースのライセンス システムでは、[FlexNetLicensingServer.exe \(http://saturn.installshield.com/product/is/2011/japanese/othersetups/flexnetlicensingserver.exe\)](http://saturn.installshield.com/product/is/2011/japanese/othersetups/flexnetlicensingserver.exe) をダウンロードおよび実行して、ローカル Web ベースのライセンス サーバー マネージャーである Imadmin をインストールします。インストールでは、ステップ 1 で取得したライセンス ファイルが要求されます。詳細については、「[ライセンス サーバー上に FlexNet Licensing Server ソフトウェアをインストールおよび構成して、InstallShield、AdminStudio、または InstallAnywhere の同時接続ライセンスを管理する](#)」を参照してください。
  - その他のオペレーティング システムの場合：
    - a. [vendor daemon \(http://www.globes.com/pages/gsideamon/current/gsi\\_down.htm\)](http://www.globes.com/pages/gsideamon/current/gsi_down.htm) をダウンロードおよびインストールする。
    - b. オペレーティング システムに適切なバージョンの [Imgrd \(http://www.globes.com/support/fnp\\_utilities\\_download.htm\)](http://www.globes.com/support/fnp_utilities_download.htm) をダウンロードします。Imgrd は、コマンドライン型のライセンス サーバー マネージャーです。Imgrd を実行するとき、ステップ 1 で取得したライセンス ファイルを識別する必要があります。
3. オーダー確認メールに記載されている適切なハイパーリンクをクリックして、フレクセラ・ソフトウェア製品をダウンロードしてください。
4. フレクセラ・ソフトウェア製品をインストールした後、製品ごとに以下の手順に従ってください：
  - **InstallShield** - ライセンス サーバーの識別方法については、「[InstallShield または AdminStudio をインストールして、同時接続ライセンスの FlexNet Licensing Server を識別する](#)」を参照してください。
  - **AdminStudio** - ライセンス サーバーの識別方法については、「[InstallShield または AdminStudio をインストールして、同時接続ライセンスの FlexNet Licensing Server を識別する](#)」を参照してください。
  - **InstallAnywhere** - ライセンス サーバーの識別方法については、ナレッジベース記事 [Q208841 \(http://support.installshield.com/kb/view.asp?articleid=Q208841\)](http://support.installshield.com/kb/view.asp?articleid=Q208841) を参照してください。この記事では、コマンドラインを使ってライセンス サーバーを識別する方法、およびライセンス タイムアウトの設定方法も説明されています。

5. このオーダーが InstallShield 2009、InstallShield 2008、または InstallAnywhere 2008 の既存する同時接続ライセンスのアップグレードであり、InstallShield または InstallAnywhere の既存する同時接続ライセンスを、製品の新しいバージョンの同時接続ライセンスが存在するマシン上で使用したい場合は、適切なアップデートをダウンロードおよびインストールしてください：

InstallShield 2008 および InstallShield 2009 ネットワーク ライセンス アップデート (<http://saturn.installshield.com/product/is/2010/japanese/licenseupdate/licenseupdater.exe>)

InstallAnywhere 2008 ネットワーク ライセンス アップデート (<http://saturn.installshield.com/product/ia/ia2008/concurrent/ia-2008-vp1-concurrent.zip>)

このアップデートを適用しなかった場合、製品の新しいバージョン用のネットワーク ライセンスによって、以前のバージョン用の既存ネットワークライセンスの使用が阻止されます。

アップグレード ネットワークライセンスの使用方法については、ナレッジベース記事 Q209022 (<http://support.installshield.com/kb/view.asp?articleid=Q209022>) を参照してください。



**メモ：** InstallShield Standalone Build のネットワークライセンス環境を設定する方法については、「InstallShield Standalone Build のライセンスング概要」を参照してください。

## ライセンス サーバー上に FlexNet Licensing Server ソフトウェアをインストールおよび構成して、InstallShield、AdminStudio、または InstallAnywhere の同時接続ライセンスを管理する

FlexNet Licensing Server ソフトウェアを取得したら、ライセンス サーバーとして使用するマシン上にこのソフトウェアをインストールできます。InstallShield、AdminStudio、または InstallAnywhere の同時接続ライセンスを管理するための FlexNet Licensing Server を構成するためには、フレクセラ・ソフトウェア ライセンス生成ツールからライセンス ファイル (.lic) を取得しなくてはなりません。

FlexNet Licensing Server ソフトウェアには、ライセンス サーバー マネージャー (ladmin) が含まれています。ライセンス サーバー マネージャーでは、Web ベースのユーザー インターフェイスを使って、以下のタスクを行うことができます：

- 既存ライセンス ファイルのインポート。
- すべてのサーバー構成、およびほとんどの管理機能を実行する。
- ユーザーの追加と削除、およびユーザーの権限を構成する。



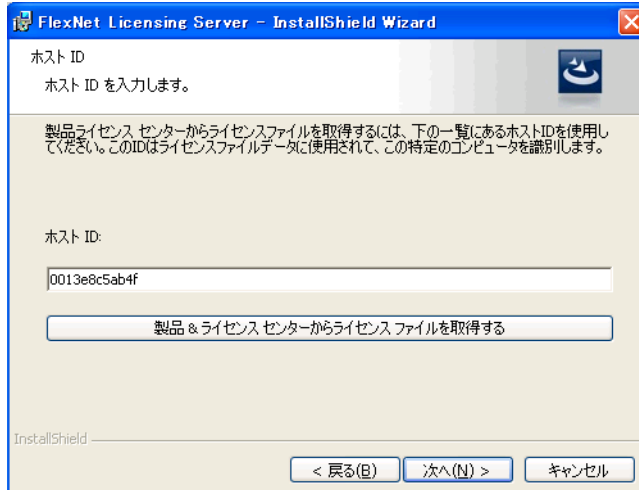
**メモ：** 以下の手順は、FlexNet Licensing Server を Windows ベースのシステムにインストールおよび構成する方法を説明します。Windows 以外のオペレーティング システムが搭載されたマシンを FlexNet Licensing Server として使用するためには、以下のサイトから適切なインストールをダウンロードしてください：

[http://www.globes.com/support/fnp\\_utilities\\_download.htm](http://www.globes.com/support/fnp_utilities_download.htm)



**タスク** FlexNet Licensing Server をインストールおよび同時接続ライセンス ファイル (.lic) を取得するには、以下の手順に従います：

1. FlexNet Licensing Server インストールを起動する。
2. [ **ホスト ID** ] ダイアログで、[ **製品 & ライセンス センターからライセンス ファイルを取得する** ] ボタンをクリックします。



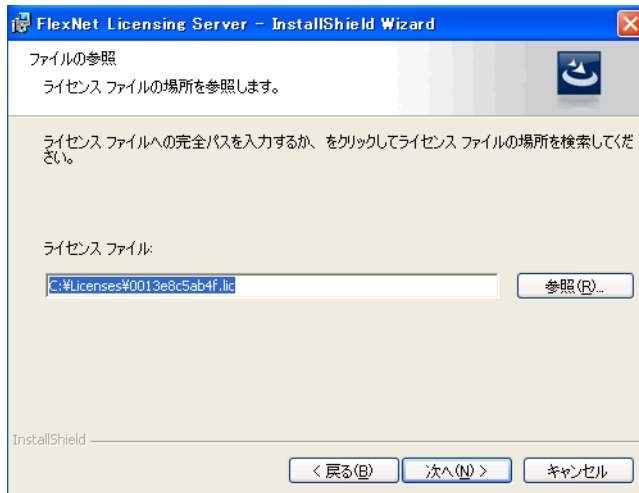
このボタンをクリックすると、フレクセラ・ソフトウェア ライセンス生成ツールへのリンクが含まれた Web ページが開きます。

3. [ **フレクセラ・ソフトウェア ライセンス生成ツール** ] リンクをクリックして、フォームに情報を記入してから、[ **生成** ] ボタンをクリックします。

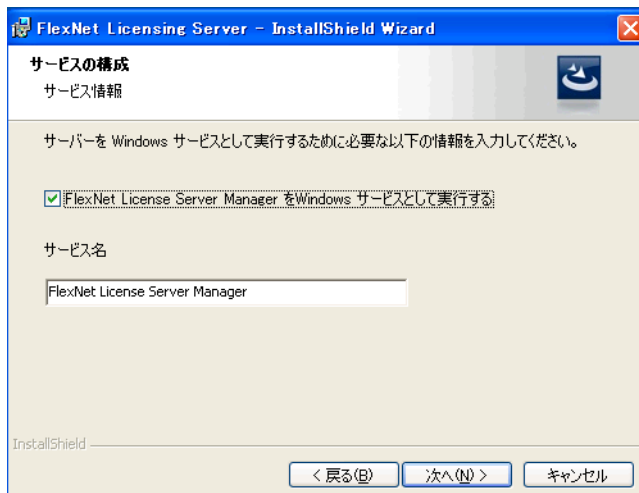


**ヒント：** FlexNet Licensing Server ソフトウェアをインストールするマシンがインターネットに接続されていない場合、インターネットに接続されているマシン上から [ライセンス生成ツール \(http://shop.flexerasoftware.com/LicenseGenerator/default.aspx\)](http://shop.flexerasoftware.com/LicenseGenerator/default.aspx) にアクセスしてください。

4. FlexNet Licensing Server インストールで、[ **ホスト ID** ] ダイアログに戻って、[ **次へ** ] ボタンをクリックします。[ **ファイルの参照** ] ダイアログが開きます。



5. **[ライセンス ファイル (.lic)]** ボックスに、オプションで現在のマシンで使用する .lic ファイルへのパスを入力するか、**[参照]** ボタンをクリックして、そのファイルに移動します。.lic ファイルを選択すると、FlexNet Licensing Server は、その現在の場所でファイルを使用します。つまり、ファイルが新しい場所に移動またはその名前が変更されることはありません。後でライセンス サーバー マネージャー (ladmin) を使って、ライセンス ファイルを FlexNet Licensing Server に追加することができます。
6. **[次へ]** ボタンをクリックします。**[サービスの構成]** ダイアログが開きます。



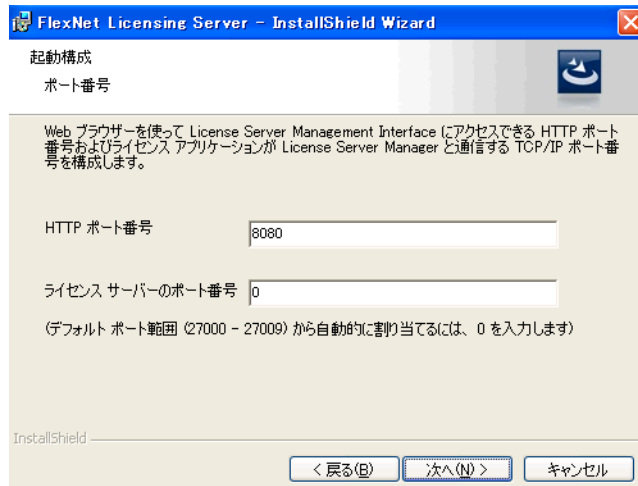
7. FlexNet Licensing Server を Windows サービスとして実行する場合、チェックボックスを選択してから、サービスに使用する名前を入力します。



**重要:** 高レベルな稼働状態を保つため、FlexNet License Server Manager を Windows サービスとして実行することが推奨されます。Windows サービスとして実行されている場合、FlexNet Licensing Server マシンが再起動する必要があるときに、サービスも再開されます。このため、FlexNet Licensing Server を再び使用可能

な状態にするために、ライセンスをチェックアウトしようとするユーザーまたはマシンが、手動で操作を行う必要がありません。

8. [次へ] ボタンをクリックします。[起動構成] ダイアログが開きます。



9. [HTTP ポート番号] ボックスと [ライセンス サーバー ポート番号] ボックスに、適切なポート番号を入力します。これらのボックスには、デフォルト値を使用することが推奨されます。

HTTP ポート番号は、どのライセンスがどのマシンによって使用中であるかを監視するための Web サーバーをホストするために使用されます。

ライセンス サーバー ポート番号は、FlexNet Licensing Server 上のベンダー デーモンと FlexNet Enabled 製品 (InstallShield、AdminStudio、および InstallAnywhere) との間の通信で使用されます。

10. インストールの残りのダイアログを完了します。最後のダイアログには、FlexNet Licensing Server Manager Web アプリケーション、つまりライセンス サーバー マネージャー (ladmin) の起動を指定するためのチェックボックスが表示されます。

インストールがマシン上に FlexNet Licensing Server をインストールします。最後のダイアログでチェックボックスを選択した場合、インストールがライセンス サーバー マネージャーを起動します。

サーバーが実行中であることをテストするには、インストールを実行するマシン上で Web ブラウザーを開いてから、次の URL に移動します (PortNumber には、適切なポート番号を挿入します)：

<http://localhost:PortNumber/>

また、別のマシンからは、次の URL を使ってこのポータルにアクセスすることができます。このサイトにアクセスするためには、使用中のマシンのファイアウォール設定の変更が必要な場合もあります。

<http://MachineName:PortNumber/>

MachineName は、FlexNet Licensing Server ソフトウェアが搭載されたマシンの名前です。PortNumber は、インストール中に入力したポート番号です。デフォルトのポート番号は 8080 です。



**重要：**多くの組織では、同時接続ライセンスを管理するために FlexNet Licensing Server を設定する担当者と、InstallShield、AdminStudio、または InstallAnywhere をインストールならびに使用するユーザーとが異なります。

## 第 1 章：InstallShield、AdminStudio、および InstallAnywhere におけるライセンス

InstallShield、AdminStudio、および InstallAnywhere の同時接続ライセンス

その場合、製品ユーザーに、その製品をインストールして FlexNet Licensing Server に接続するときに必要な以下の情報を通知してください：

- FlexNet Licensing Server ソフトウェアがインストールされているサーバーの名前または IP アドレス
- [起動構成] ダイアログで入力したライセンス サーバー ポート番号 (ほとんどの場合、この値は空白のままです。これを空白のまま残した場合、ユーザーは、製品のインストール中にポート番号設定を空白のままにしておくではありません。)

License Server Manager (ladmin) の使用方法については、「[FlexNet Licensing Server 上における License Server Manager \(ladmin\) の使用](#)」を参照してください。

## InstallShield または AdminStudio をインストールして、同時接続ライセンスの FlexNet Licensing Server を識別する

InstallShield、AdminStudio、または InstallAnywhere の同時接続ライセンスを購入した場合、お客様の組織で、まず FlexNet Licensing Server をセットアップする必要があります。セットアップが完了したあと、InstallShield、AdminStudio、または InstallAnywhere がインストールされているマシン上で、使用する FlexNet Licensing Server を識別しなくてはなりません。



**メモ:** InstallAnywhere で FlexNet Licensing Server を識別する方法については、ナレッジベース記事 [Q208841](http://support.installshield.com/kb/view.asp?articleid=Q208841) (<http://support.installshield.com/kb/view.asp?articleid=Q208841>) を参照してください。



**タスク** *InstallShield または AdminStudio で FlexNet Licensing Server を識別するには、以下の手順に従います:*

1. InstallShield または AdminStudio を起動します。製品が起動する前に、アクティベーションウィザードが開きます。
2. **[製品がライセンス情報をライセンスサーバーから取得できるように構成する]** オプションを選択してから、**[次へ]** ボタンをクリックします。製品が **[ライセンスサーバーの指定]** ダイアログを表示します。
3. **[サーバー]** ボックスで、ライセンスサーバーの IP アドレスを入力するか、**[参照]** ボタンをクリックして、サーバーを参照します。
4. お客様の環境で構成されている FlexNet Licensing Server がカスタムポート番号を使用している場合は、**[ポート]** ボックスにそのポート番号を入力します。多くの場合、ポート番号は空白のままです。
5. **[テスト接続]** ハイパーリンクをクリックします。

ウィザードがマシンをライセンスサーバーに接続して、マシンが製品のライセンスをチェックアウトおよびチェックインできるかどうかを検証します。



## InstallShield Standalone Build のライセンス

InstallShield Standalone Build はコマンドライン ツールで、InstallShield のインストールをコンパイルする部分 ( および含める再配布可能ファイル ) のみをビルド マシンにインストールすることができます。

Standalone Build は、InstallShield Premier Edition および Professional Edition に含まれています。Standalone Build 用の追加ライセンスを購入することもできます。

Standalone Build には、2 つの異なるライセンス モデルが提供されています：

- **ノードロック ライセンス** - このモデルでは、Standalone Build ライセンスは特定のマシンに固定されています。
- **ネットワーク ライセンス ( 同時接続ライセンス )** - このモデルを使うと、複数のマシン間で Standalone Build の浮動ライセンスを共有することができます。このモデルでは、使用中の環境でライセンス サーバーを設定して、必要に応じて何台ものマシン上に Standalone Build をインストールできます。Standalone Build ライセンスは特定のライセンス サーバーと関連付けられていて、ビルドが行われるとき、ビルド マシンはサーバーからビルド ライセンスをチェックアウトします。ライセンス サーバーは、ご購入済みのネットワーク ライセンス ( 同時接続ライセンス ) の使用条件に基づいて、同時に実行可能な Standalone Build のインスタンス数を管理します。

いずれの Standalone Build ライセンス モデルも、アクティベーションは不要です。

両方のライセンス モデルで、フレクセラ・ソフトウェアによって生成されるライセンス ファイルが必要です：

- ノードロック モデルの場合、ライセンス ファイルは Standalone Build が搭載されたマシンのホスト ID ( ネットワーク インターフェイス カードのイーサネット /MAC アドレス ) に基づいて生成されます。
- 同時接続ライセンス モデルの場合、ライセンス ファイルはライセンス サーバーのホスト ID ( ネットワーク インターフェイス カードのイーサネット /MAC アドレス ) に基づいて生成されます。このライセンス ファイルは、FlexNet Licensing Server ソフトウェアと共に同時接続ライセンスを管理するマシンであるライセンス サーバーにインストールしなくてはなりません。組織で購入された Standalone Build のライセンスが同時接続ライセンスの場合、Standalone Build を 1 つ以上のビルド マシンにインストールするとき、使用するライセンス サーバーの情報が必要になります。この後、Standalone Build を自分のマシンで起動するたびに、サーバーが呼び出され、必要なライセンスが使用可能であることがクエリされます。ライセンスが使用可能な場合、FlexNet Licensing Server ソフトウェアが Standalone Build へのアクセスを許可します。

FlexNet Licensing Server ソフトウェアは、フレクセラ・ソフトウェアから無料でダウンロードできます。これを使って、任意の FlexEnabled 製品のライセンスを管理できます。

Standalone Build は専用のライセンス ファイル、または FlexNet Licensing Server への接続なしでは実行できません。

フレクセラ・ソフトウェア製品 & ライセンス センターから Standalone Build ライセンス ファイルを取得できます。取得方法については、このガイドを参照してください。





**メモ：**このセクションでは、InstallShield Standalone Build のライセンスについての情報です。InstallShield IDE のノードロック ライセンスの使用方法については、InstallShield ヘルプ ライブラリの「InstallShield の製品アクティベーション」セクションを参照してください。InstallShield IDE の同時接続ライセンスの使用方法については、「InstallShield、AdminStudio、および InstallAnywhere における同時接続ライセンスの概要」を参照してください。

## InstallShield Standalone Build のライセンスング概要

次の手順は、InstallShield Standalone Build のためのライセンス環境を設定する方法を説明します。



**メモ：**InstallShield をご購入されたときに、製品 & ライセンス センターにお客様の組織専用のアカウントが作成され、そのアカウントにご購入者のユーザー アカウントが追加されます。お客様がご購入担当者である場合、電子メールアドレスとパスワードを使って製品 & ライセンス センターにサインインできます。お客様がご購入担当者ではなく、まだユーザー アカウントが追加されていない場合は、[新しいアカウントに参加] ページ (<https://flexerasoftware.subscribenet.com/control/inst/registeraccount>) にアクセスして、アカウント ID とシリアル番号を入力してください (アカウント ID およびシリアル番号は、オーダー確認のための電子メール メッセージに記載されています)。



**タスク** **InstallShield Standalone Build のライセンスング環境を設定するには、以下の手順に従ってください：**

1. 製品をリセラーからご購入の場合、<http://www.installshield.com/register> にアクセスして、シリアル番号登録のためのフォームにご記入ください。電子メールで、製品 & ライセンス センターへのウェルカム メッセージが送信されます。このプロセスの次のステップに進む前に、この電子メール メッセージが必要です。
2. Standalone Build インストールを取得する。これは、[フレクセラ・ソフトウェア製品 & ライセンス センター \(https://flexerasoftware.subscribenet.com/\)](https://flexerasoftware.subscribenet.com/) から取得できます。また、InstallShield Premier Edition または InstallShield Professional Edition の DVD にも含まれています。  
製品 & ライセンス センターからインストールを取得する方法についての詳細は、「[Standalone Build の取得](#)」を参照してください。
3. **ノードロック ライセンス** - Standalone Build のノードロック ライセンスをご購入の場合は、ビルドマシン上に Standalone Build をインストールおよび構成してください。その手順は、「[Standalone Build のノードロック ライセンスのインストールと構成](#)」を参照してください。  
**ネットワーク ライセンス (同時接続ライセンス)** - Standalone Build の同時接続ライセンスをご購入の場合は、以下に従ってください：
  - a. **製品 & ライセンス センター** (<https://flexerasoftware.subscribenet.com/>) から FlexNet Licensing Server ソフトウェアを取得する。その手順は、「[Standalone Build の同時接続ライセンスの設定](#)」を参照してください。

- b. ライセンス サーバー上に FlexNet Licensing Server ソフトウェアをインストールおよび構成する。その手順は、「[ライセンス サーバー上に FlexNet Licensing Server ソフトウェアをインストールおよび構成する](#)」を参照してください。
- c. ビルド マシン上に Standalone Build をインストールおよび構成する。その手順は、「[Standalone Build をビルド マシンにインストールおよび構成する](#)」を参照してください。

## Standalone Build の取得

Standalone Build インストールは、単一の圧縮された実行可能ファイルで、これをビルド マシンで実行して Standalone Build をインストールします。Standalone Build のノードロック ライセンスまたは同時接続ライセンスのいずれを購入された場合も、同じインストールを使用します。

InstallShield Premier Edition または InstallShield Professional Edition の DVD をお持ちの場合、この DVD にインストールが含まれていますので、DVD ブラウザーを使って見つけてください。

Standalone Build インストールは、製品 & ライセンス センターからダウンロードすることもできます。



**タスク**      **Standalone Build インストールをダウンロードするには、以下の手順に従います：**

1. **製品 & ライセンス センター** (<https://flexerasoftware.subscribenet.com/>) にサインインする。
2. 左側のナビゲーション内で、**[エンタイトルメント]** の下にある **[製品リスト]** をクリックします。  
**[製品リスト]** ページには、お客様のアカウントで使用できる製品ラインのすべてが表示されます。複数の製品へのアクセスがない場合は、**[製品リスト]** リンクをクリックすると、**[製品情報]** ページが直接開きます。
3. **[製品リスト]** ページに複数の製品が表示された場合は、**[InstallShield]** リンクをクリックします。**[製品情報]** ページが開きます。
4. **[製品とファイルのダウンロード]** 列で、**[InstallShield Standalone Build Node-Locked License]** リンクをクリックします。**[製品のダウンロード]** ページが開きます。
5. 適切なダウンロード ボタンをクリックします。

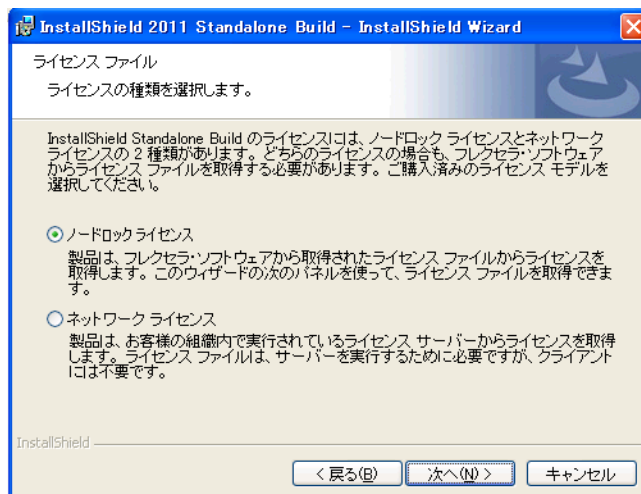
## Standalone Build のノードロック ライセンスのインストールと構成

Standalone Build のノードロック ライセンスをご購入の上、Standalone Build インストールを取得すると、Standalone Build をインストールできます。Standalone Build のノードロック ライセンスを構成するためには、製品 & ライセンス センターからライセンス ファイル (.lic) を取得しなくてはなりません。以下に、Standalone Build のインストール方法、らなびにノードロック ライセンスの取得および構成方法を説明します。

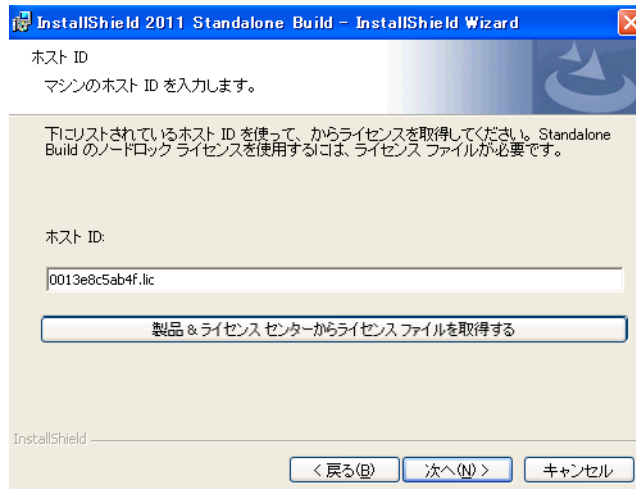


**タスク** Standalone Build をインストールしてノードロック ライセンス ファイル (.lic) を取得するには、以下の手順に従います：

1. Standalone Build インストールを起動します。
2. **[ライセンスの種類]** ダイアログで **[ノードロック ライセンス]** オプションを選択します。



3. **[ホスト ID]** ダイアログで、**[製品 & ライセンス センターからライセンス ファイルを取得する]** ボタンをクリックします。



このボタンをクリックすると、製品 & ライセンス センターへのリンクが含まれた Web ページが開きます。このリンクをクリックして、製品 & ライセンス センターにサインインします。



**ヒント：** Standalone Build をインストールするマシンがインターネットに接続されていない場合は、インターネットに接続されているマシンから **製品 & ライセンス センター** (<https://flexerasoftware.subscribenet.com/>) にサインインしてください。

4. 製品 & ライセンス センターで、Standalone Build をインストールする特定のマシン用のライセンス ファイルを取得します：
  - a. 左側のナビゲーション内で、**[エンタイトルメント]**の下にある**[製品リスト]**をクリックします。

**[製品リスト]** ページには、お客様のアカウントで使用できる製品ラインのすべてが表示されます。複数の製品へのアクセスがない場合は、**[製品リスト]** リンクをクリックすると、**[製品情報]** ページが直接開きます。
  - b. **[製品リスト]** ページに複数の製品が表示された場合は、**[InstallShield]** リンクをクリックします。**[製品情報]** ページが開きます。
  - c. インストールならびに構成を行う製品の**[ライセンス]** リンクをクリックすると、**[ライセンス情報]** ページが開きます。このページには、製品の使用中および未使用のライセンスについての詳細が表示されます。
  - d. リストから未使用のライセンスを見つけて、そのライセンスに属する**[製品に有効なライセンス]** オプションを選択します。
  - e. ページの下にある**[生成]** ボタンをクリックします。**[ライセンスの生成]** ページが開きます。
  - f. そのライセンスの**[ノード ホスト ID]** ボックスに、Standalone Build をインストールする特定のマシン固有の Host ID を入力します。Host ID は、Standalone Build インストール中に**[Host ID]** ダイアログに表示されます。
  - g. **[生成]** ボタンをクリックします。**[ライセンスの表示]** ページが開きます。



## FlexNet Licensing Server ソフトウェアの取得

FlexNet Licensing Server ソフトウェアは、同時接続ライセンスを保有するユーザーからのライセンスチェックアウトおよびチェックイン要求を管理します。FlexNet Licensing Server のインストールは、同時接続ライセンスング ソフトウェアをインストールする単一の圧縮された実行可能ファイルです。このインストールを、ライセンス管理用のマシンで実行します。このインストールは、Standalone Build の同時接続ライセンスをご購入いただいた場合のみ必要です。

Windows ベース システム用の FlexNet Licensing Server インストールは、製品 & ライセンス センターからダウンロードすることができます。以下は、その取得方法についての説明です。



**メモ:** Windows 以外のオペレーティング システムが搭載されたマシンを FlexNet Licensing Server として使用するためには、以下のサイトから適切なインストールをダウンロードしてください:

[http://www.globes.com/support/fnp\\_utilities\\_download.htm](http://www.globes.com/support/fnp_utilities_download.htm)



**タスク** FlexNet Licensing Server インストールをダウンロードするには、以下の手順に従います:

1. 製品 & ライセンス センター (<https://flexerasoftware.subscribenet.com/>) にサインインする。
2. 左側のナビゲーション内で、[エンタイトルメント] の下にある [製品リスト] をクリックします。  
[製品リスト] ページには、お客様のアカウントで使用できる製品ラインのすべてが表示されます。複数の製品へのアクセスがない場合は、[製品リスト] リンクをクリックすると、[製品情報] ページが直接開きます。
3. [製品リスト] ページに複数の製品が表示された場合は、[InstallShield] リンクをクリックします。  
[製品情報] ページが開きます。
4. [製品とファイルのダウンロード] 列で、[InstallShield Standalone Build Concurrent License] リンクをクリックします。  
[製品のダウンロード] ページが開きます。
5. FlexNet Licensing Server の適切なダウンロードボタンをクリックします。

## ライセンス サーバー上に FlexNet Licensing Server ソフトウェアをインストールおよび構成する

FlexNet Licensing Server ソフトウェアを取得したら、ライセンス サーバーとして使用するマシン上にこのソフトウェアをインストールできます。Standalone Build の同時接続ライセンスを管理するための FlexNet Licensing Server を構成するためには、製品 & ライセンス センターからライセンス ファイル (.lic) を取得しなくてはなりません。

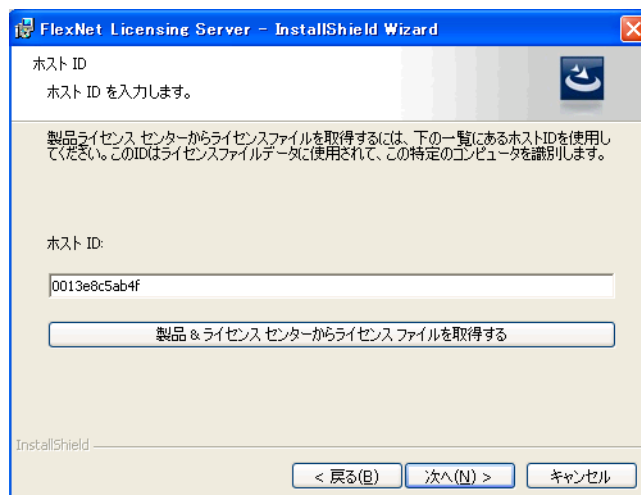
FlexNet Licensing Server ソフトウェアには、ライセンス サーバー マネージャー (ladmin) が含まれています。ライセンス サーバー マネージャーでは、Web ベースのユーザー インターフェイスを使って、以下のタスクを行うことができます：

- 既存ライセンス ファイルのインポート。
- すべてのサーバー構成、およびほとんどの管理機能を実行する。
- ユーザーの追加と削除、およびユーザーの権限を構成する。



**タスク** FlexNet Licensing Server をインストールおよび同時接続ライセンス ファイル (.lic) を取得するには、以下の手順に従います：

1. FlexNet Licensing Server インストールの起動。
2. [ホスト ID] ダイアログで、[製品 & ライセンス センターからライセンス ファイルを取得する] ボタンをクリックします。



このボタンをクリックすると、製品 & ライセンス センターへのリンクが含まれた Web ページが開きます。このリンクをクリックして、製品 & ライセンス センターにサインインします。





**ヒント：** FlexNet Licensing Server ソフトウェアをインストールするマシンがインターネットに接続されていない場合は、インターネットに接続されているマシンから **製品 & ライセンス センター** (<https://flexerasoftware.subscribenet.com/>) にサインインしてください。

3. 製品 & ライセンス センターで、FlexNet Licensing Server をインストールする特定のマシン用のライセンス ファイルを取得します：
  - a. 左側のナビゲーション内で、**[エンタイトルメント]**の下にある**[製品リスト]**をクリックします。

**[製品リスト]** ページには、お客様のアカウントで使用できる製品ラインのすべてが表示されます。複数の製品へのアクセスがない場合は、**[製品リスト]** リンクをクリックすると、**[製品情報]** ページが直接開きます。
  - b. **[製品リスト]** ページに複数の製品が表示された場合は、**[InstallShield]** リンクをクリックします。**[製品情報]** ページが開きます。
  - c. インストールならびに構成を行う製品の **[ライセンス]** リンクをクリックすると、**[ライセンス情報]** ページが開きます。このページには、製品の使用中および未使用のライセンスについての詳細が表示されます。
  - d. リストから未使用のライセンスを見つけて、そのライセンスに属する **[製品に有効なライセンス]** オプションを選択します。
  - e. ページの下にある **[生成]** ボタンをクリックします。**[ライセンスの生成]** ページが開きます。
  - f. **[生成するライセンスの数]** ボックスに、FlexNet Licensing Server で管理できるように許可するライセンスの数を入力します。
  - g. 以下のいずれかを実行します。
    - 新しい FlexNet Licensing Server を使ってライセンスを管理する場合：**[サーバー ホスト ID]** ボックスに、FlexNet Licensing Server をインストールする特定マシンのホスト ID を入力します。ホスト ID は、FlexNet Licensing Server インストール中に **[ホスト ID]** ダイアログに表示されます。
    - 既存の FlexNet Licensing Server を使ってライセンスを管理する場合：**[既存のライセンス ホスト]** リストで適切なオプションを選択します。この同時接続ライセンス用に既存サーバーが構成されている場合、それらがこのボックスに表示されます。
  - h. 冗長ライセンスング サーバー クラスターを構成する場合、必要に応じてその他の設定を行います。
  - i. **[生成]** ボタンをクリックします。**[ライセンスの表示]** ページが開きます。このページには、製品 & ライセンス センターが FlexNet Licensing Server のライセンス ファイルを作成するために使用する情報が表示されます。



### View Licenses

Below are the licenses you just generated.

[License Overview](#) [Print Friendly](#) [Save All](#)

#### License Applicable to Product(s):

Version	Description
17.0	InstallShield 2011 Standalone Build Concurrent License

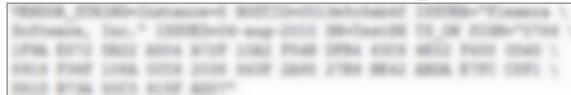
License Quantity: 3

Ethernet Address: 0013e8c5ab4f  
Generated By: Debbie Landers on Aug 20, 2010

```
SERVER this_host 0013e8c5ab4f  
VENDOR mvsn  
USE_SERVER  
INCREMENT IS2.win.SAB.AppV mvsn 17.00000 permanent 3 \
```

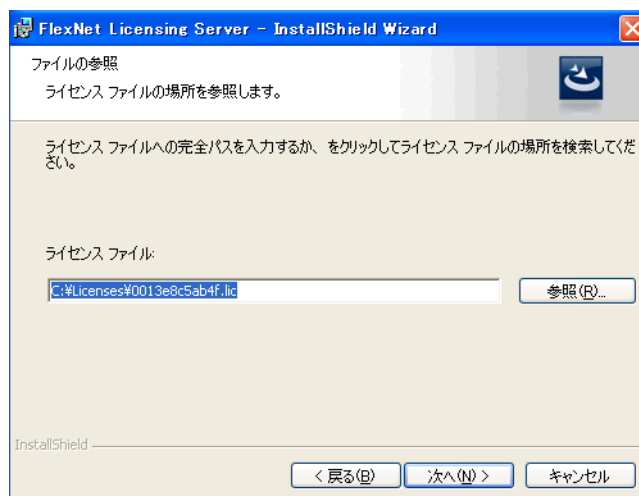


```
INCREMENT IS2.win.SAB mvsn 17.00000 permanent 3 VENDOR_STRING=REAL \
```



[License Overview](#) [Print Friendly](#) [Save All](#)

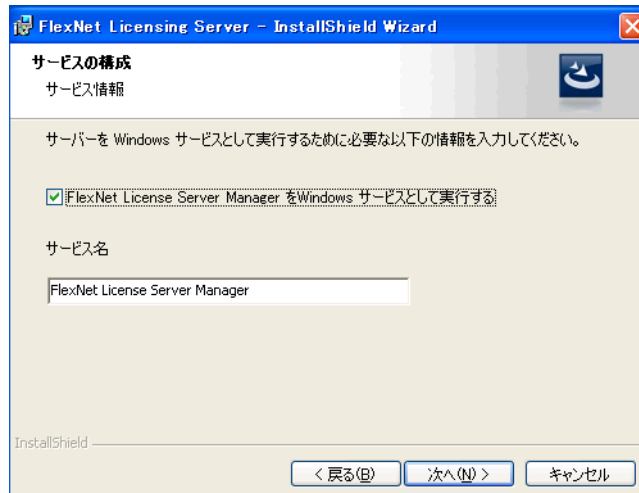
- j. **[すべて保存]** ボタンをクリックします。製品 & ライセンス センターに、ライセンス ファイルをダウンロードする場所を指定できるダイアログ ボックスが表示されます。
  - k. Standalone Build をインストールするマシンが常にアクセス可能な場所を指定します。製品 & ライセンス センターによって、指定された場所に .lic ファイルがダウンロードされます。このファイル名は *HostID.lic* で、*HostID* 部分には、.lic ファイルを取得したときに指定したホスト ID が入ります。管理し易くするために、このファイル名を変更することもできます。
4. FlexNet Licensing Server インストールで、**[ホスト ID]** ダイアログに戻って、**[次へ]** ボタンをクリックします。**[ファイルの参照]** ダイアログが開きます。



5. **[ライセンス ファイル (.lic)]** ボックスに、オプションで現在のマシンで使用する .lic ファイルへのパスを入力するか、**[参照]** ボタンをクリックして、そのファイルに移動します。.lic ファイルを選

択すると、FlexNet Licensing Server は、その現在の場所でファイルを使用します。つまり、ファイルが新しい場所に移動またはその名前が変更されることはありません。後でライセンス サーバー マネージャー (ladmin) を使って、ライセンス ファイルを FlexNet Licensing Server に追加することができます。

6. [次へ] ボタンをクリックします。[サービスの構成] ダイアログが開きます。

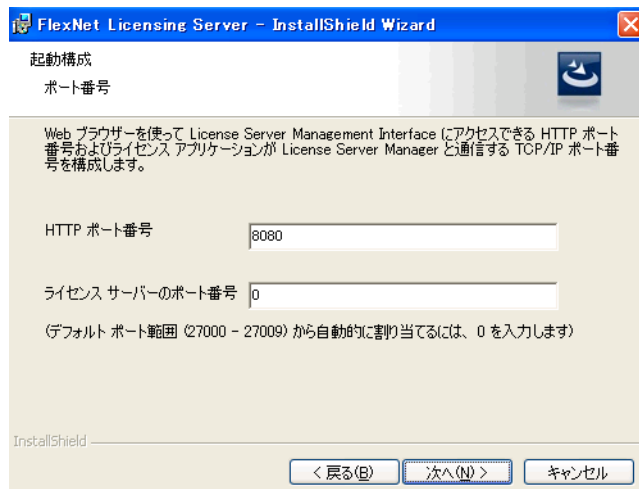


7. FlexNet Licensing Server を Windows サービスとして実行する場合、チェックボックスを選択してから、サービスに使用する名前を入力します。



**重要:** 高レベルな稼働状態を保つため、FlexNet License Server Manager を Windows サービスとして実行することが推奨されます。Windows サービスとして実行されている場合、FlexNet Licensing Server マシンが再起動する必要があるときに、サービスも再開されます。このため、FlexNet Licensing Server を再び使用可能な状態にするために、ライセンスをチェックアウトしようとするユーザーまたはマシンが、手動で操作を行う必要がありません。

8. [次へ] ボタンをクリックします。[起動構成] ダイアログが開きます。



9. [HTTP ポート番号] ボックスと [ライセンス サーバー ポート番号] ボックスに、適切なポート番号を入力します。これらのボックスには、デフォルト値を使用することが推奨されます。

HTTP ポート番号は、どのライセンスがどのマシンによって使用中であるかを監視するための Web サーバーをホストするために使用されます。

ライセンス サーバー ポート番号は、FlexNet Licensing Server 上のベンダー デーモンと FlexNet Enabled 製品 (Standalone Build など) との間の通信で使用されます。

10. インストールの残りのダイアログを完了します。最後のダイアログには、FlexNet Licensing Server Manager Web アプリケーション、つまりライセンス サーバー マネージャー (Imadmin) の起動を指定するためのチェックボックスが表示されます。

インストールがマシン上に FlexNet Licensing Server をインストールします。最後のダイアログでチェックボックスを選択した場合、インストールがライセンス サーバー マネージャーを起動します。

サーバーが実行中であることをテストするには、インストールを実行するマシン上で Web ブラウザーを開いてから、次の URL に移動します (*PortNumber* には、適切なポート番号を挿入します):

<http://localhost:PortNumber/>

また、別のマシンからは、次の URL を使ってこのポータルにアクセスすることができます。このサイトにアクセスするためには、使用中のマシンのファイアウォール設定の変更が必要な場合もあります。

<http://MachineName:PortNumber/>

*MachineName* は、FlexNet Licensing Server ソフトウェアが搭載されたマシンの名前です。*PortNumber* は、インストール中に入力したポート番号です。デフォルトのポート番号は 8080 です。



**重要:** 多くの組織では、同時接続ライセンスを管理するために FlexNet Licensing Server を設定する担当者と、Standalone Build をインストールならびに使用するユーザーとが異なります。その場合、Standalone Build ユーザーに Standalone Build をインストールして FlexNet Licensing Server に接続するときに必要な以下の情報を通知してください:

- FlexNet Licensing Server ソフトウェアがインストールされているサーバーの名前または IP アドレス
- [起動構成] ダイアログで入力したライセンス サーバー ポート番号 (ほとんどの場合、この値は空白のままです。これを空白のまま残した場合、Standalone Build ユーザーは、そのインストール中にポート番号設定を空白のままにしなくてはなりません。)

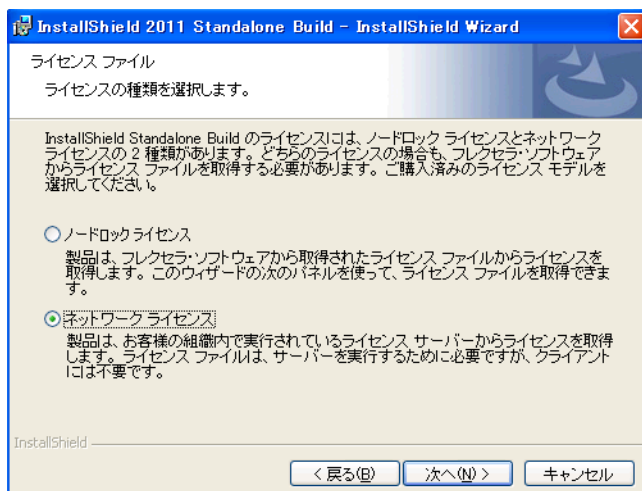
## Standalone Build をビルドマシンにインストールおよび構成する

Standalone Build の同時接続ライセンスをご購入の上、Standalone Build インストールを取得すると、1 台以上のマシンに Standalone Build をインストールできます。Standalone Build の同時接続ライセンスを構成するには、Standalone Build をマシンにインストールするときに使用する FlexNet Licensing Server を識別する必要があります。この後、Standalone Build をマシンで起動するたびに、サーバーで必要なライセンスが使用可能であることが確認されます。ライセンスが使用可能な場合、そのマシンによる Standalone Build へのアクセスが許可されます。



**タスク** Standalone Build をインストールして、組織の同時接続ライセンスを管理している FlexNet Licensing Server を識別するには、以下の手順に従います：

1. Standalone Build インストールを起動します。
2. **[ライセンスの種類]** ダイアログで **[ネットワーク ライセンス]** オプションを選択します。



3. **[ライセンス サーバーおよびポート]** ダイアログで、ライセンス サーバーの名前または IP アドレスを入力します。お客様の環境で構成されている FlexNet Licensing Server がカスタム ポート番号を使用している場合は、そのポート番号を入力します。多くの場合、ポート番号は空白のままです。設定への入力が完了したら、**[テスト接続]** ボタンをクリックして、ビルドマシンが Standalone Build のライセンスをチェックアウトおよびチェックインできるかどうかを検証します。
4. インストールの残りのダイアログを完了します。

インストールによって、ビルドマシン上に Standalone Build がインストールされます。インストールは、Server.ini ファイルという名前のファイルも作成します。このファイルは、Standalone Build Program Files フォルダーの System フォルダーにインストールされます。このファイルのデフォルトの場所は、次の通りです：

C:\Program Files\InstallShield\2011 SAB\System\server.ini

Server.ini ファイルには、次の行が含まれています：

```
[FlexNet Publisher Server]
```

Server=Port@ServerName

上の例で、Port はカスタム ポート番号が使用される場合のポート番号です。多くの場合、ポート番号は省略されます。ServerName は、FlexNet Licensing Server ソフトウェアが搭載されたマシンの名前です。



**メモ:** Standalone Build をビルドマシンにインストールするとき、ライセンスサーバー名とポート番号を指定しなくても、前述のディレクトリにある server.ini ファイルにこの情報を手作業で追加すれば、Standalone Build をインストールすることができます。Standalone Build は、この情報（または専用のノードロックライセンスファイル）なしでは実行できません。

## Standalone Build ライセンスに関する問題のトラブルシューティング

次の表には、Standalone Build を使ってリリースをビルドするときに発生する可能性のある、ライセンス関連のいくつかの問題の解決方法についてのヒントが掲載されています。

テーブル 1-2: ライセンス関連のエラーと警告

ビルドエラー / 警告番号	エラー / 警告メッセージ	トラブルシューティング情報
-7216	この製品のライセンスでは、iscmdbld.exe の %d インスタンスのみを同時に実行できます。%d インスタンスが検出されました。	このエラーは、Standalone Build のノードロック ライセンスを使用していて、Standalone Build の同時に使用可能なインスタンスの数を超えた場合に発生します。 このエラーを解決するためには、Standalone Build を指定された同時使用インスタンスの数を超えて起動しないでください。

テーブル 1-2: ライセンス関連のエラーと警告 (続き)

ビルドエラー / 警告番号	エラー / 警告メッセージ	トラブルシューティング情報
-7159	製品ライセンスの期限が切れているか、まだ初期化されていません。	<p>このビルド エラーは、Standalone Build を使ってリリースをビルドしようとしたときに、以下のいずれも当てはまらなかった場合に発生します：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次のディレクトリに License.lic ノードロック ファイルが存在しない： <i>Standalone Build Program Files</i> フォルダー\System</li> <li>ビルド マシンが、FlexNet Licensing Server に接続されていない。FlexNet Licensing Server は同時接続ライセンスを管理します。同時接続ライセンスを使用している場合、Server.ini で FlexNet Licensing Server が指定されていなくてはなりません。このファイルは、以下のディレクトリにインストールします： <i>Standalone Build Program Files</i> フォルダー\System</li> </ul> <p>Server.ini ファイルには、次の行が含まれています：</p> <pre>FlexNet Publisher Server] Server=Port@ServerName</pre> <p>上の例で、Port はカスタム ポート番号が使用される場合のポート番号です。多くの場合、ポート番号は省略されません。ServerName は、FlexNet Licensing Server ソフトウェアが搭載されたマシンの名前です。</p> <p>このビルド エラーは、Standalone Build の同時接続ライセンスを使ってリリースをビルドしようとしたときに、FlexNet Licensing Server がダウン、または応答なしの状態の場合に発生します。</p> <p>エラーについての追加情報を取得したい場合、-v オプションを ISCmdBld.exe に渡して冗長ビルド ログを生成します。以下は、冗長ビルド ログに含まれる追加情報の例です：</p> <p><b>ライセンス サーバー マシンがダウン、または応答なしの状態です。 (-96,7:11001 "WinSock: Host not found (HOST_NOT_FOUND)")</b></p> <p>Standalone Build はライセンス ファイルなし (または、Standalone Build の同時接続ライセンスの場合、FlexNet Licensing Server への接続なし) では実行できません。このエラーを解決するためには、ライセンスが正しく構成されていることを確認してください。ノードロック ライセンスを使用する場合、ライセンス ファイルをビルド マシンの正しい場所にインストールする必要があります。同時接続ライセンスを使用する場合、ライセンス ファイルは FlexNet Licensing Server にインストールしなくてはなりません。</p>

テーブル 1-2: ライセンス関連のエラーと警告 (続き)

ビルドエラー / 警告番号	エラー / 警告メッセージ	トラブルシューティング情報
-7158	仮想化機能は、このエディションに含まれていません。	<p>このビルド エラーは、App-V パッケージをビルドしようとしたときに、ライセンスが App-V パッケージのビルドを許可するように構成されていない場合に発生します。</p> <p>エラーについての追加情報を取得したい場合、-v オプションを ISCmdBld.exe に渡して冗長ビルド ログを生成します。以下は、冗長ビルド ログに含まれる追加情報の例です：</p> <p><b>そのような機能は存在しません。(-5,357)</b></p> <p>このエラーを解決するには、仮想化パックを含む InstallShield または Standalone Build バージョンをご購入ください。</p>

# FlexNet Licensing Server 上における License Server Manager (Imadmin) の使用

FlexNet Licensing Server ソフトウェアには、ライセンス サーバー マネージャー (Imadmin) が含まれています。ライセンス サーバー マネージャーでは、Web ベースのユーザー インターフェイスを使って、以下のタスクを行うことができます：

- InstallShield、AdminStudio、InstallAnywhere、および InstallShield Standalone Build の既存の同時接続ライセンス ファイルをインポートする。
- すべてのサーバー構成、およびほとんどの管理機能を実行する。
- ユーザーの追加と削除、およびユーザーの権限を構成する。

## Imadmin の起動

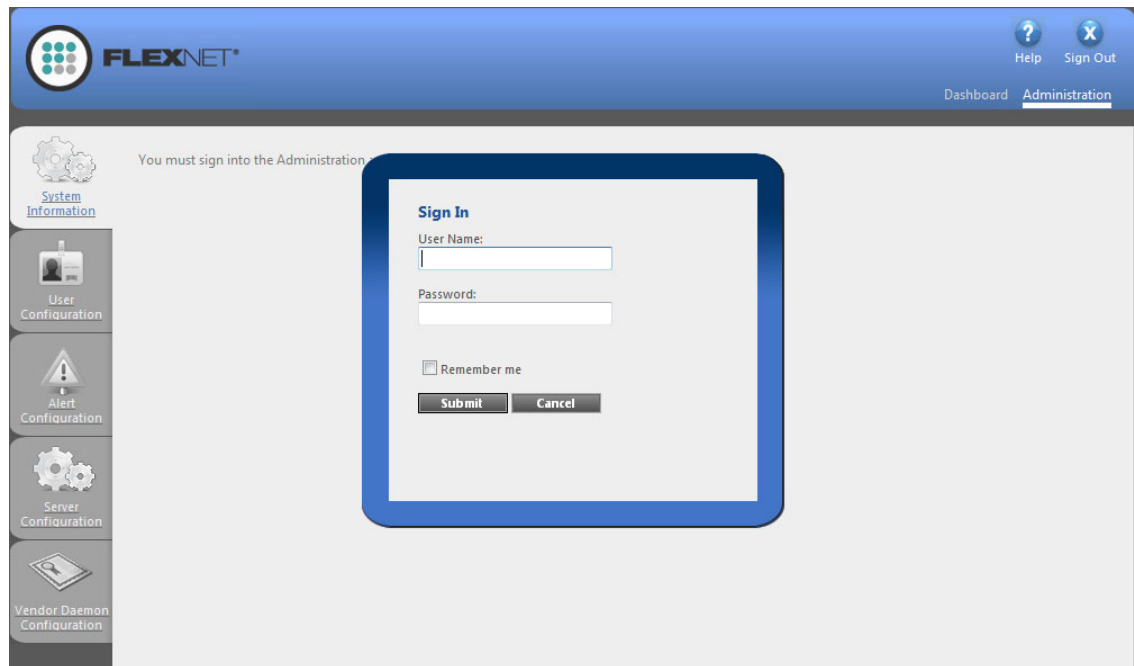
FlexNet Licensing Server が搭載されているマシンを使用しているか、組織内の別のマシンを使用しているかに関わらず、Imadmin を起動してサインインすることができます。



**タスク** *Imadmin* を起動するには、以下の手順に従います：

1. Web ブラウザーを開いて、以下のいずれかを行います：
  - FlexNet Licensing Server が搭載されているマシンを使用している場合、以下のサイトにアクセスします：  
`http://localhost:Port`  
*Port* は、Web サーバーをホストするために使用される HTTP ポート番号です。これは、FlexNet Licensing Server ソフトウェアのインストール時に構成されます。デフォルトのポート番号は、8080 です。
  - FlexNet Licensing Server が搭載されているのとは異なるマシンを使用する場合は、以下のサイトにアクセスします：  
`http://MachineName:Port`  
*MachineName* は、FlexNet Licensing Server ソフトウェアが搭載されたマシンの名前です。*Port* は、Web サーバーをホストするために使用される HTTP ポート番号です。これは、FlexNet Licensing Server ソフトウェアのインストール時に構成されます。デフォルトのポート番号は、8080 です。
2. サイトの右上にある **[管理]** リンクをクリックします。サイトで **[サインイン]** ページが表示されます。





3. サインインします。デフォルトのサインイン情報は、以下の通りです。これらの認証情報を使って初めてサインインしたとき、Imadmin はパスワードの変更をプロンプトします。

- ユーザー名 : admin
- パスワード : admin



**ヒント：** FlexNet Licensing Server がサービスとして構成されている場合、Windows サービスを使って FlexNet Licensing Server サービスを開始することが出来ます。FlexNet Licensing Server がサービスとして構成されていない場合、Imadmin.exe を実行して開始できます。ユーザーがライセンスをチェックアウトおよびチェックインできるようにするためには、FlexNet Licensing Server を開始しなくてはなりません。

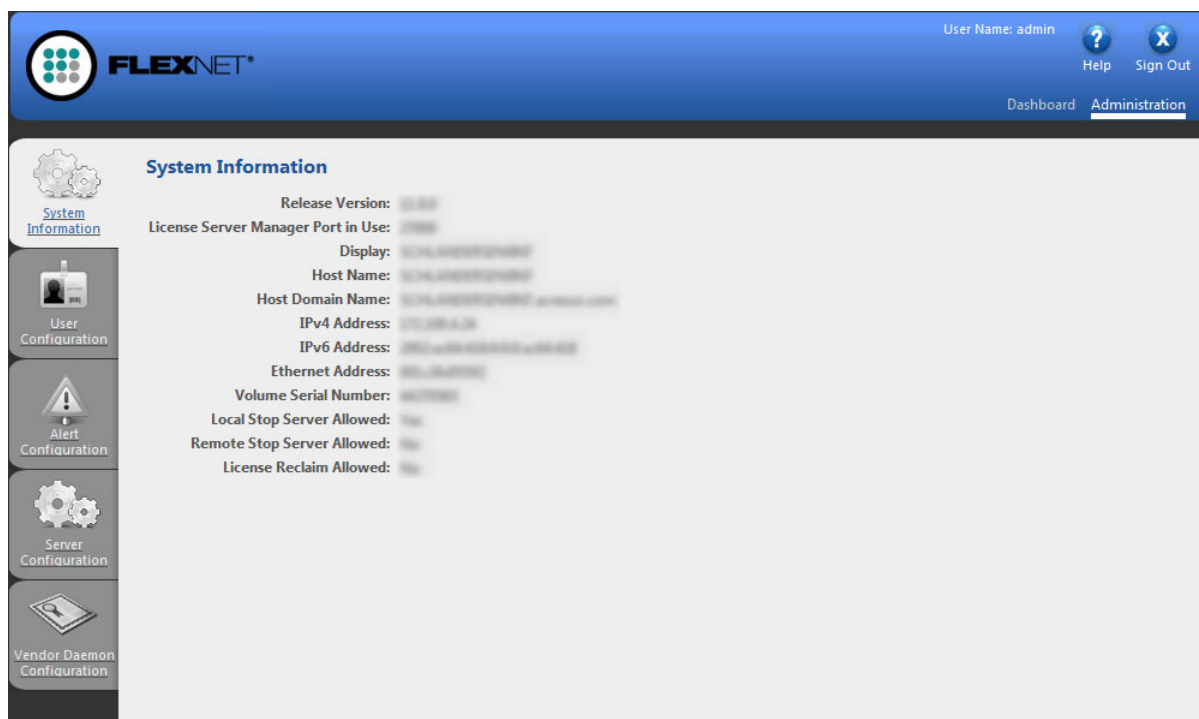
## FlexNet Licensing Server のシステム情報を参照する

License Server Manager (Imadmin) は、FlexNet Licensing Server についての情報および FlexNet Licensing Server ソフトウェアを実行中のシステムについての情報を表示します。



**タスク** Imadmin でシステム情報を表示するには、以下の手順に従います：

**[Administration]** リンクをクリックしてから、**[System Information]** タブをクリックします。



[System Information] タブには、以下の情報が表示されます：

- **Release Version** - FlexNet Licensing Server のリリースバージョン。
- **License Server Manager Port in Use** - lmadmin が接続を待ち受け (listen) するのに使用するポート番号。ポート番号を構成するには、[Server Configuration] タブを使用します。
- **Display** - Windows ベースのシステムで、これはシステム名またはターミナル サーバー環境ではターミナル サーバー クライアントの名前です。UNIX ベースのシステムで、これは X ディスプレイの名前、または ttyname() 関数 (または同様の関数) によって返された値です。
- **Host Name** - FlexNet Licensing Server を実行中のシステムのホスト名 (例、**prod01**)。
- **Host Domain Name** - ライセンス サーバーを実行中のドメイン上にあるシステムの完全修飾ホスト名 (例、**prod01.flexerasoftware.com**)。
- **IPv4 Address** - システムを識別するのに使用される IP バージョン 4 アドレス (例、**255.255.255.255**)。IPv4 アドレスは、システムで IPv4 が有効な場合に表示されます。
- **IPv6 Address** - システムを識別するのに使用される IP バージョン 6 アドレス (例、**ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff**)。IPv6 アドレスは、システムで IPv6 が有効な場合に表示されます。
- **Ethernet Address** - FlexNet Licensing Server ソフトウェアを実行中のシステムを識別する、マシンの ホスト ID (マシンの MAC アドレスで、物理アドレスとも呼ばれます)。
- **Volume Serial Number** - ライセンス サーバーを実行中のシステムを識別するハード ディスク シリアル番号。

- **Local Stop Server Allowed** – FlexNet Licensing Server を実行中のマシン (ローカル マシン) で実行している Imdown ユーティリティを使って、またはライセンス サーバー管理インターフェイスから FlexNet Licensing Server を停止できるかどうかを示します。この設定を構成するには、Imadmin を実行するときに -allowStopServer コマンドライン パラメーターを使用します。
- **Remote Stop Server Allowed** – FlexNet Licensing Server を停止できるかどうかを示します。  
[No] を選択すると、Imdown またはライセンス サーバー管理インターフェイスを使って、リモート マシンから FlexNet Licensing Server を停止することはできません。  
[Yes] を選択すると、以下のいずれかの方法で FlexNet Licensing Server を停止できます：
  - リモート マシン、つまり Imadmin を実行中のマシン以外のマシンから Imdown を使用する。
  - リモート マシン上で実行中のライセンス サーバー管理インターフェイスで [Stop Server] ボタンをクリックする。
- **License Reclaim Allowed** – Imremove ユーティリティを使って、ユーザーからライセンスを回収できるかどうかを示します。この設定を構成するには、Imadmin を実行するときに -allowLicenseReclaim コマンドライン パラメーターを使用します。

3 台の冗長サーバーを使ったライセンス サーバーを構成した場合、[System Information] タブの [Three-Server Redundancy Group Information] セクションに以下の情報が表示されます：

- **Quorum State** - クォーラムの状態。ライセンス サーバーが開始して、クォーラムを構成しようとしたとき、以下順番で状態が設定されます：
  - **None** – ライセンス サーバーは 3 冗長サーバーとして構成されていません。
  - **Initialize** – クォーラムの初期化中。
  - **Wait** – 初期化段階が完了しましたが、クォーラムがまだ確立されていません。
  - **Confirm** – FlexNet Licensing Server は、クォーラムが確立される前に、少なくとも 1 つ以上の別の FlexNet Licensing Server からの確認メッセージを待機しています。
  - **Up** – 少なくとも 2 つ以上のライセンス サーバーでクォーラムが確立されました。
- **Master** – マスターのホスト名。
- **Primary Is Master** – True または False のいずれかを示して、PRIMARY\_IS\_MASTER 属性がライセンス ファイルで定義されているかどうかを指定します。
- **Group Member Host** – ライセンス ファイルで構成されている 3 つのシステムのホスト名。
- **Port** – [Group Member Host] 列に表示される各システムのポート番号。
- **Status** – [Group Member Host] 列に表示される各システムの状態。各 FlexNet Licensing Server がクォーラムに参加すると、次のうちの 1 つの状態となります。
  - **None** – FlexNet Licensing Server は、クォーラムのメンバーではありません。
  - **Active** – FlexNet Licensing Server は、クォーラムのアクティブなメンバー。
  - **Connected** – FlexNet Licensing Server は、クォーラムに接続中。

- **Connection Failed** – FlexNet Licensing Server は、別の FlexNet Licensing Server に接続しようとしたが、失敗しました。
- **In Process** – FlexNet Licensing Server は、別の FlexNet Licensing Server に接続してクォーラムを確立しようとしています。
- **Initialize** – FlexNet Licensing Server は、クォーラムの一部として初期化中。
- **Sent** – FlexNet Licensing Server は、クォーラム内の別の FlexNet Licensing Server にメッセージを送信しました。

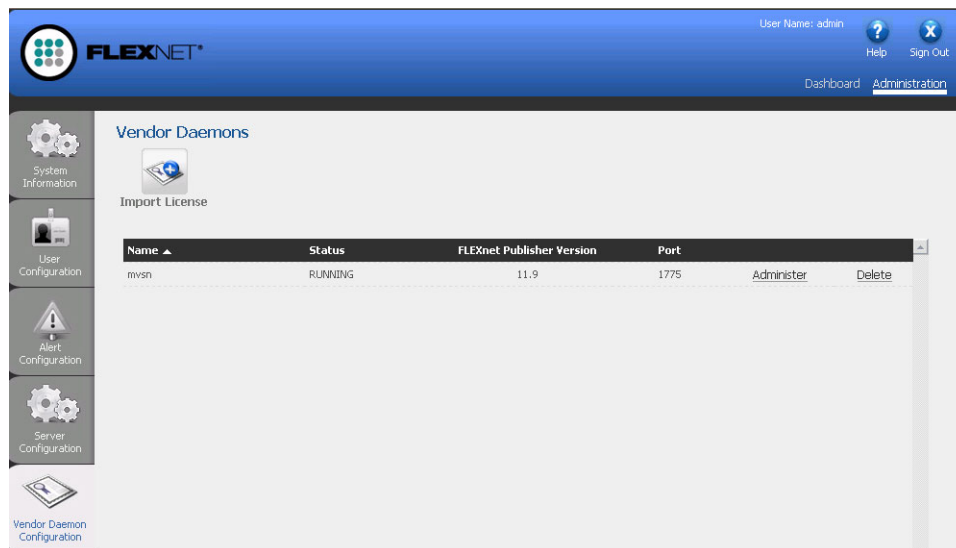
## ライセンス ファイルを Imadmin にインポートする

Imadmin の [Vendor Daemon Configuration] ページでは、ベンダー デーモンのライセンス ファイルをインポートすることができます。



**タスク** 既存のベンダー デーモンのライセンス ファイルをインポートするには、以下の手順に従います：

1. **[Administration]** リンクをクリックしてから、**[Vendor Daemon Configuration]** タブをクリックします。



2. **[Import License]** ボタンをクリックします。**[Import License File]** ページが開きます。

3. 使用するライセンス ファイル (.lic) へのパスを指定するか、**[Browse]** ボタンをクリックして、そのファイルを参照します。
4. オプションで、**[Overwrite License File on License Server (ライセンス サーバー上のライセンス ファイルを上書きする)]** チェック ボックスを選択します。ライセンス サーバーのアップロード ディレクトリに同じ名前のライセンス ファイルが既存する場合、ライセンス サーバーは、そのファイルを上書きします。このオプションは、ライセンス サーバー マネージャーに新しいベンダー デーモンを追加するときに必要です。
5. **[Import License]** ボタンをクリックします。これが既存ベンダーのライセンス ファイルである場合、ライセンス サーバー マネージャーはそのファイルをライセンス サーバーの適切なディレクトリにコピーします。
6. 既存ベンダーのライセンス ファイルをインポートするときに、**[Overwrite License File on License Server]** チェック ボックスをクリアした場合、ベンダー デーモンを停止および開始する必要があります。新しいライセンス ファイルが読み込まれて、ベンダー デーモンが開始したときに、ライセンス ファイルに含まれるライセンスがロードされます。

既存ベンダーのライセンス ファイルをインポートして、**[Overwrite License File on License Server]** チェック ボックスを選択した場合、ベンダー デーモンによって自動的に更新されたライセンス ファイルが読み込まれます。この再読み込み処理が完了次第、ユーザーは任意の新しいライセンスを使用し始めることができます。新しいライセンスは、**[Dashboard]** にも表示されます。

新しいベンダー用のライセンス ファイルをインポートすると、ライセンス サーバー マネージャーが、ライセンス サーバー構成ファイルにベンダー デーモン情報を追加して、ライセンス サーバーがこれを管理できるようにします。ライセンス サーバー マネージャーが、ライセンス サーバーの適切なディレクトリにファイルをコピーします。

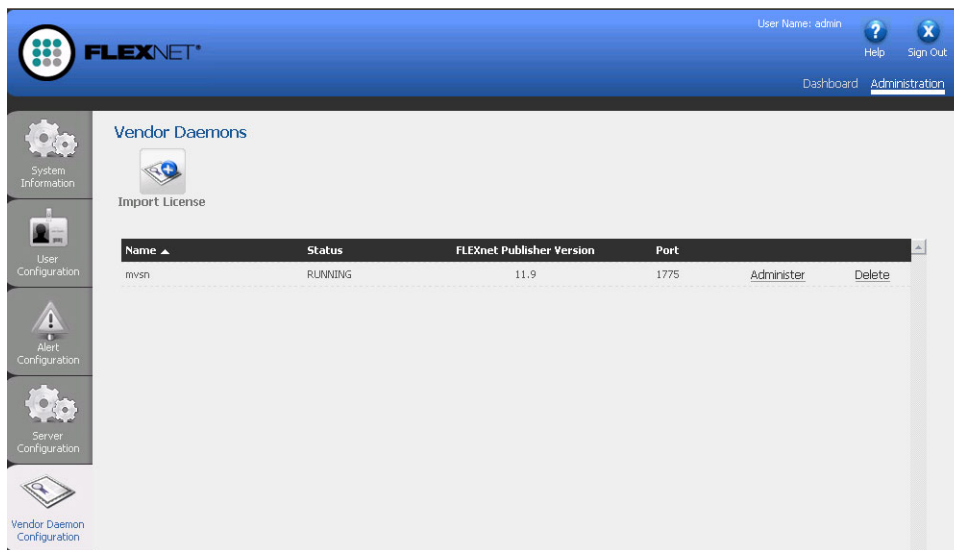
## ベンダー デーモンの管理

Imadmin の **[Vendor Daemon Configuration]** ページでは、ベンダー デーモンを停止、開始、およびベンダー デーモンのライセンス ファイルを再読み込みすることができます。



タスク      **ベンダー デーモンを管理するには、以下の手順に従います：**

1. **[Administration]** リンクをクリックしてから、**[Vendor Daemon Configuration]** タブをクリックします。



2. ベンダー デーモンの概要グリッドで、**[Administer]** ハイパーリンクをクリックすると、いくつかの設定が表示されます。

Vendor Daemon:mvsn

Vendor Daemon Port in Use: 1775

Vendor Daemon Actions

Stop Reread License Files

Report Log Name:  Rotate Report Logs

General Configuration

\*License File or Directory  
C:\Documents and Settings\Debbielanders\My Documents\LicenseFiles\0004232c4c1f.lic

Vendor Daemon Location:  
mvsn/mvsn

\*Vendor Daemon Port:  
 Use default port  
 Use this port

\*Restart Retries:

Enable Date-based Versions

Vendor Daemon Log

Save Cancel

3. 以下の設定を使って、必要なタスクを行います。

- **Vendor Daemon Port in Use** - この読み取り専用設定は、ベンダー デーモンが FlexEnabled アプリケーションと通信するために使用する TCP/IP ポート番号を表示します。
- **Stop** - このボタンは、ベンダー デーモンを停止しますが、lmadmin は実行中のままにします。ベンダー デーモンを停止すると、このボタンは [Start] に変更されます。
- **Start** - このボタンは、ベンダー デーモンを開始します。このボタンは、ベンダー デーモンが停止しているときに表示されます。ベンダー デーモンを開始すると、ベンダー デーモンがライセンス ファイルを読み込んで、ライセンス権利をメモリーにロードします。ベンダー デーモンを開始すると、このボタンは [Stop] に変更されます。
- **Reread License Files** - このボタンは、ライセンス ファイル、トラステッドストレージ、および任意のベンダー デーモン オプション ファイルのコンテンツを再読み込みしてから、情報をメモリーにロードします。ベンダー デーモンの再開が必要ときに、License File または Directory 設定の値が変更されていない限り、[General Configuration] セクションの License File または Directory 設定で指定されたライセンス ファイルが読み込まれます。一般的に、ライセンス ファイルのコンテンツまたはオプション ファイルが編集された場合に、このボタンを使用します。
- **Report Log Name** - 現在のレポート ログを保存するファイルの名前を入力します。
- **Rotate Report Logs** - このボタンをクリックすると、FlexNet Licensing Server は既存のレポート ログの名前を Report Log Name 設定の名前に変更して、オプション ファイルに含まれる名

## 第 1 章：InstallShield、AdminStudio、および InstallAnywhere におけるライセンスング

*FlexNet Licensing Server 上における License Server Manager (ladmin) の使用*

前を使って、新しい空白のレポート ログ ファイルを作成します。この機能を使用するには、オプション ファイルを使って、レポート ログ機能を有効化しなくてはなりません。